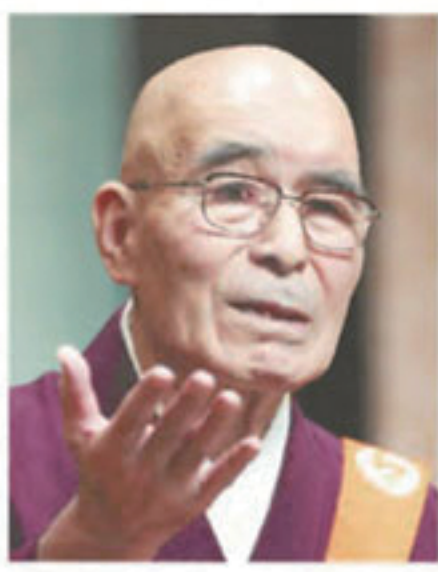




上野誠 万葉学者・国学院大学教授

講演 万葉集にはそのような家族愛が表れています。天武天皇が崩御した時、持統天皇が詠んだのが「神岳の山は黄葉を」とあります。「神岳」は確定できませんが、奈良県明日香村の「神岳」や「山」の辺りと言われています。

家族愛 信仰の原点



加藤朝胤 薬師寺管主

法話 かつら・ちよついでん 1949年、愛知生まれ。23歳で入山し、高田好胤和古に師事。日本大法学院、興谷大文学部卒。2019年から管主。薬師寺生物管理研究所主任。研究も務め、仏教美術の研究をライフワークとしている。

祈り 律令国家の礎

7世紀後半の日本の古代国家は、蘇我氏と天武天皇の2人でほぼ形作ったと言えます。薬師寺の歴史を振り返ると、天武天皇が持統天皇の病氣平癒をお祈りされたことに始まります。国家が管理する寺院の基は、私的な家族の祈りだったのです。

三重 * 薬師寺 まほろば塾

事の善悪 心が作る

その後、仮のお堂ができたのですが、私が初めて見た時は、隙間から青空が見えるほどボロボロでした。そこで高田好胤・元管主が、白鳳時代の建物を復興したいとお祈り進められました。みんな「お写経でお堂が建つはずがない」と反対しました。それでも、一人ひとりの願いがこもったお堂でないと、お薬師さまは喜ばない」とあえて遠い道を行き、お写経による復興を成し遂げました。

能登地震 復興を祈願

法話と講演に先立ち、舞台上にまつられた薬師寺の本尊・薬師三尊像の掛け軸の前で、能登半島地震をはじめとした各地の自然災害や戦災などの犠牲者を悼み、被災地の復興を祈る法話が営まれた「写真」。



はまし」と、「まし」に変わっています。これは天武天皇が亡くなって生き返ることはないと言ったうえで「やっぱりここに帰ってきて、生前見た紅葉をまた一緒に見てほしい」という持統天皇の気持ちが表れています。忘れられない紅葉ということですね。

【現代語訳】 やすみしし わが大君の 夕方になると ご覧になっているに違いない 夜が明けてくると 訪れられているに違いない

【現代語訳】 やすみしし わが大君が 夕方になると ご覧になっているに違いない 夜が明けてくると 訪れられているに違いない

も言っています。善いも悪いも心が作る、というのが法相宗の「唯識」の教えです。人はいつ、どこで、どうなるかわかりません。だから毎日一生懸命生きるように励んでいます。

薬師寺まほろば塾に協賛しています (順不同) 近畿圏 岩谷産業 サントリーホールディングス 近鉄百貨店 パナソニックホールディングス 大阪シティ信用金庫 岩谷瓦斯 キンセイマテック 新コスモス電機 フォールホールディングス 今日庵 小山 佐藤木材

*会員募集 「薬師寺まほろば塾推進の会」は会員を募集している。年会費(1口)は個人6000円、法人30万円。会員には薬師寺や各地で開かれる「まほろば塾」への優先申し込み、無料参加など、法人会員は研修・記念行事への講師派遣、薬師寺での旅行や研修の支援などの特典がある。

しかでできることがない」とのんでいます。二上山は、奈良盆地の北側から一つ一つの谷にしか見えませんが、飛鳥や藤原京の都があった南側からは二つの谷がよく見えて、「ふたかみやま」と呼ばれるようになりました。現在は音読みして「にじょうざん」と言っています。